

KINTSUGI JEWELRY

WORKSHOP

金継ぎジュエリーでモダンアート

色鮮やかな天然石などのパーツと
割れたり欠けたりした伝統的な日本のやきものの
陶片を組み合わせてオリジナルジュエリーをつくるワークショップです。
色柄形がそれぞれ異なる唯一無二のアクセサリパーツとして
お好きなものを選んでいただき、
“世界にひとつだけの金継ぎジュエリー”をつくりましょう！
唯一無二のアクセサリはギフトにもおすすめです。

※ワークショップでは、有田・伊万里焼の陶片を使用します。
※アクセサリは、ピアス・イヤリング・ブローチ・指輪・ペンダントトップ・帯留め・ボニーフック・タイピン・タックピン・カフスリンクスの中から好きなものを選んで、2点制作することができます。当日講師に作りたいものをお伝えください。
※制作されたアクセサリは当日お持ち帰り頂けます。
※汚れても良い服装、また細かい手元の作業のため眼鏡が必要な方はお持ちください。
※かぶれにくい合着うるし(塗料)と金粉(真鍮とパールの粉のブレンド)を使用しますがまれにかぶれる場合があります。ご注意ください。

【日時】 6月1日(土) 9:30～12:30 / 14:00～17:00
6月2日(日) 9:30～12:30

【定員】 各回16名

【対象】 小学生以上(小学生の参加は要保護者同伴)

【参加費】 一般 / 5,500円(特別展観覧券付き)
メンバーズ会員 / 4,500円(特別展観覧券なし)

【場所】 山口県立萩美術館・浦上記念館 交流スペース

【申込開始】 5月6日(月・祝) 9:00から
WEB(PC・スマホ)にてお申込みください。

【講師】 engrace 赤沼 奈津香氏

【お問い合わせ】

山口県立萩美術館・浦上記念館 TEL:0838-24-2400
〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 開館時間:9:00～17:00(入場は16:30まで)
FAX:0838-24-2401 URL:https://hum-web.jp/
主催:山口県立萩美術館・浦上記念館 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

お申し込みは
コチラから



金継ぎとは？

壊れた陶磁器を修復する室町時代からの日本独自の技法で、割れたり欠けたりした器を漆で繋ぎ、継ぎ目を金や銀などの粉を蒔いて装飾する伝統技術です。ワークショップでは、ウルシの木から採れる漆は使用せずかぶれにくく乾く時間の早い合着うるし(塗料)と金粉(真鍮とパールの粉のブレンド)を使用して作るので、はじめての方も安心してご参加いただけます。

講師プロフィール

赤沼 奈津香 (あかぬま なつか)

金継ぎジュエリー engrace(エングレース)主宰。
2012年よりハンドメイドを始め2019年に金継ぎを京都で習得し器を修復する技を応用し独学で金継ぎジュエリー作りを始める。日本の伝統を継承したやきものに着目し、窯元などから産業廃棄物となる「もう使われないやきもの」を買い取り形を変え、ジュエリーとして生まれ変わらせる活動を行っている。
現在、唐津焼、織部焼、有田・伊万里焼、備前焼、京焼・清水焼、信楽焼、九谷焼のをやきものを取り扱っており、海外を含む取扱常設店が約20店舗、オンラインショップ4サイトを運営し、百貨店での催しや各種イベント、ワークショップの開催、カルチャースクールの講師、台湾やパリなどで海外出展も行っている。



【特別展のご案内】

兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション

古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界

好評開催中 6月23日(日)まで (詳しくはWEBへ)

[休館日] 5月13日(月)・20日(月)・27日(月)、6月10日(月)・17日(月)

[観覧料] 一般 1,200(1,000)円、学生 1,000(800)円、70歳以上 900(700)円、18歳以下無料



※開催中のコレクション展もご覧いただけます。※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。